

(学校運営協議会・報告様式)

令和7年度 第2回 牧田小学校 学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 令和7年8月28日(木)14:00～15:00

2 場 所 多目的室

3 あいさつ(学校長、委員長)

<委員長>

・今回の学校運営協議会は、学校保健委員会と兼ねているので、学校三師さんからぜひ貴重な話を聞きたい。よろしくお願いします。

<校長>

・本日の学校保健委員会での養護教諭からの説明と議論を通して、学校運営協議会委員の皆さんと共有し、2 学期以降の学校運営に繋げていきたい。

4 協議事項(学校保健委員会)

議題:『スマホ・ネット・ゲームの上手な使い方について』

ア 養護教諭より

☆保健室より(・保健室の様子・ノーメディア週間の取組報告・アンケート結果、昨年度近隣小学校で取り組んだ「メディアコントロール」結果)【別紙】

- ・今年度の1学期来室者は例年並みである。
- ・風邪や熱等病気以外の頭痛の症状で来室する児童が多い。
- ・ノーメディアの取組は校区全体で継続して取り組んでいる。
- ・平日 2 時間以上使用している児童は体の不調を訴える割合が高い。
- ・長時間使用している児童はメディアのために大切な人間関係や学校のことなどを台無しにした割合が高くなる。
- ・養護、医師からの保健指導やチャレンジなどの取り組みにより使用時間、就寝時刻に改善がみられた。
- ・依存傾向が高い児童の改善はみられにくく、予防が大切である。
- ・ノーメディアの取組により、増加した時間(リアルな生活)について、児童に保健だより等で伝えている。リアルな生活を豊かに過ごすことが大切である。

イ 学校三師より

☆学校医

- ・保健室よりの説明を聞き、子どもたち自身から気づいていることが多く良かった。
- ・メディア依存は再生産されていくものであり、親の依存をどうしていくかが大きな課題であり、心配である。
- ・全国的に様々な取組を講じているがしっかりと継続して欲しい。

☆学校歯科医

- ・依存症は親の影響が大きく、確固たる協力が必要である。
- ・オーストラリア規制や罰則等も検討する必要があるのか心配である。

☆学校薬剤師

- ・頭痛や不眠による処方が多いが、傾聴すること多い現状である。
- ・協力しながら上手く良い方向へ向けていければと考えている。

ウ 質疑応答・意見交換

☆委員より

- ・使い始めの時期をしっかりと見極めていく必要がある。
- ・部活や塾で遅い帰宅時には連絡ツールとして必要な面もある。
- ・現代は使用させないというのは難しい。
- ・長期休暇中は使用頻度が多くなり、睡眠不足になり、リズムに影響する。
- ・ルール作りは大切であるが、現実に沿ったルール作りが難しい。
- ・子どもから知識を得ることが逆にある。
- ・DX 推進の時代であり、正しく触れていく必要もある。
- ・以前はテレビ・ゲームの時間、今はスマホの時間と時代の中で変化している。

☆学校より

- ・担任から感じるのは、休み時間に外遊びが少ない児童は、ネットの話題が多い。
- ・ゲームの話題が多く、とても詳しい様子が見受けられる。
- ・正しいネットリテラシーを教育していきたい。

☆教育支援課より

- ・正しい使用方法を親子の会話を通じて学ばせる必要がある。
- ・ICT についていけないようにするのはいけない。
- ・持たせる前のルールづくり(つくるタイミング、守れなかった場合、使用場所等)がやはり必要である。
- ・使いはじめを遅くすることを学校から家庭に発信して欲しい。